

月刊

FOCUS

2023-24 12-1 月号

No.33

フクインからお客様へ「つくる」を支える定期便

あけましておめでとうございます！

フォントークーハンゲル2-

紙の世界



こんにちは校正記号
ゼロから始める製本生活
～製本キホンの「キ」編～

今月号のテーマカラー

■ 金色 (C:0 M:0 Y:0 K:0/ 金 : 100)

■ 緋色 (C:21 M:91 Y:99 K:0)

FUKUINI

フォントーク —ハンゲル2—

今月は、前々回に続いてハンゲルのフォントについて特集します。

ハンゲルにも明朝体やゴシック体などの一般的なフォントの他に、ファンシー書体と言われる装飾書体も数多く存在します。

今回はその中から、日本でも使用できる3書体を紹介します！

ピングレ体

韓国の国民的飲料「バナナウ」を製造している飲料会社「ピングレ」が無料で公開しているフォントです。

柔らかいイメージのデザインが特徴で、読むだけで思わずほっこりしてしまうフォントです。

バナナウのボトルにも使われています。

ブルーボンデリウム体

韓国の Web ホスティング会社「Gabia (ガビア)」が無料で公開しているフォントです。

細いストローク同士が生み出すコントラストが特徴のフォントで、デザイン性を第一にした作りのためキャッチコピーなどの短いフレーズに最適です。

ナムムペンスクリプト体

韓国のフォントメーカー「Sandoll」と「Fontrix」で共同開発されたフォントです。

ペンで書いたような温かみのあるタッチが特徴的な、現代風の手書きフォントです。

フォント名	ピングレ体 (Binggrae Samanco)	ブルーボンデリウム体 (Gabia Cheongyeon)	ナムムペンスクリプト体 (Nanum Pen)
日本語			
こんにちは	안녕하세요	안녕하세요	안녕하세요
ようこそ	환영	환영	환영

表：ピングレ体・ブルーボンデリウム体・ナムムペンスクリプト体の見本

今回紹介したフォント以外にも多くのフォントが存在しますが、一部のフォントは「商用利用 不可」となっています。

ご使用する際は必ず利用規約をご確認ください。

次回は「タイ語」について FOCUS します。

参考サイト

無料で使える韓国語フォント5選 | フォントの選び方も解説 | ストラテ (atglobal.co.jp)

書体を試す | ピングレー書体 (bingfont.co.kr)

ガビアについて - ブランド CI (gabia.com)

Nanum Pen スクリプト - Google Fonts

紙の世界

今回は、「OK 未晒クラフト」に FOCUS してみました！

■ OK 未晒クラフト

「OK 未晒クラフト」は針葉樹を原料としたパルプを使用している為、繊維の長い未晒（みさらし）のクラフトパルプを使用します。一般的な印刷用紙に比べ、強度があり、包装紙や紙袋によく使われている茶色の紙です。上質紙、コート紙などの【印刷用紙】が印刷の適正を上げるために、表面平滑度を重視して製造されるのに対して、包装紙である両更クラフト紙は強度に重点が置かれて作られた紙になります。薬品などで紙を漂白する工程を省いているため、比較的安価で手に入りやすいです。

フクインでは帯などで印刷することが多く、可読性よりもデザイン性が高い印刷物に使われる印象です。

いつもの月刊 FOCUS 本文の文字の大きさと少し読みづらかったため、ウェイトを上げて印刷しました。

「未晒」とは…？

まだ晒されていないという意味で、薬品などに晒されていない、漂白されていないことを指します。漂白すると強度が落ちてしまうため、未晒クラフトは茶色っぽい色をしています。

OK 未晒クラフトの規格

斤量	50g/m ²	60g/m ²	70g/m ²	75g/m ²	80g/m ²	100g/m ²	120g/m ²
紙厚 (ミクロン)	約 70 μ	約 80 μ	約 100 μ	約 110 μ	約 120 μ	約 140 μ	約 170 μ
紙厚 (ミリ)	約 0.07mm	約 0.08mm	約 0.10mm	約 0.11mm	約 0.12mm	約 0.14mm	約 0.17mm

こんにちは校正記号

今回から「校正記号」の記事を書かせていただく N です。この記事を通して、入社一年目の目線から見える「印刷」の景色をお伝えしていきます。

私は日々の業務の中で「内校正」を行うことが多く、中でも「校正記号」に頻繁に触れています。校正記号には、知識がなくても、形や文字によって意味が推測できるものもありますが、意味を知らなければわからないものも多くあります。その実態を探るためにはまず、「校正」が一体何なのかを知る必要があるでしょう。

・「校正」の定義は大きく分けて以下の二つです。

一つ目 文字の誤りをくらべ直すこと。

二つ目 校正原稿を原稿と引き合せて、文字の誤りや不備を調べ直すこと。

これらを正確に行うため、JIS* で統一された校正記号が定められ、使用されています。そのため、校正記号は、校正者同士をつなぐ共通言語であるといえるかもしれません。私はこの「言語」を通して、多くの方とつながっていきたくて考えています。

それでは、実際に校正記号に触れていく前に、校正の基本的なルールについて今回は、いくつかご紹介していきたいと思います。

* JIS とは：日本産業規格 (JIS = Japanese Industrial Standards の略)。日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた日本の国家規格のことです。

・赤ペンを使う

この原則から、校正することを「朱を入れる」、または、「アカを入れる」ともいい、記入された訂正文字や校正記号を総称して「赤字」といいます。赤ペンは校正をする際に最も欠かせないものの一つです。

・文字は正しく明確に書く

和文（日本文）は楷書で書くことを原則としますが、「書き癖」を急に改めることは難しく、校正者によって文字に癖が出ることは付き物です。そのため、「ア」と「マ」など、手書きでは似てしまいがちな文字をはっきりと区別して書くことが大切です。

・小さな訂正箇所は、その部分が目立つように赤丸で囲んでおく

句読点・カッコ類・獨点などは、それだけをボツンと記入しておいても、見落とされるおそれがあり、注意するポイントの一つです。

さて、今回は校正の基本的なルールについてご紹介しました。他にも校正をする際に気を付けることは多々ありますが、共通していえることは、「自分以外に伝わる校正をすること」だと思います。印刷の世界に足を踏み入れたばかりの私ですが、赤ペンを携え、校正記号のネイティブスピーカーを目指していきます！！

OK 未晒クラフトの印刷見本



ゼロから始める製本生活～製本キホンの「キ」編～

前回は SDGs 特集ということで「環境に配慮したインキ」についてお話ししましたが、今回からは通常通り製本について引き続きお話ししていきます。

前々回は並製本の中の「アジロ綴じ」についてお話ししました。アジロ綴じは多くの書籍に使われる普遍的な製本仕様でした。

今回は並製本の中でも比較的安価な「中綴じ」についてお話ししていきたいと思います。

①中綴じとは

表紙と本文をそろえた状態で、中心部を針金で綴じ、二つ折りにしたものになります。その構造上、あまり多くのページのあるものには使用できず、比較的少ないページのものに使用されます。例としては、カタログ、雑誌などが挙げられます。

※糸で綴じるのは「中ミシン綴じ」と言って、絵本など堅牢性を求められる商品に使われています。

②中綴じのメリット

1 つ目は、中綴じはアジロ綴じや無線綴じと比べると少ない工程で製作を行えるため他より低コストで作ることができます。

2 つ目は、用紙の中心部で綴じているため、奥まで開くことができ、開いたままで置いておくことも無理なくできます。そのため、誌面いっぱいデザインをすることができ、自由度が高くなります。

③中綴じのデメリット

1 つ目は、上記にもありますが、中心部を綴じる構造上ページ数が多い物には向いておりません。

2 つ目は、二つ折りで作成するため本の「背」が存在せず、本棚に差した際の視認性はよくありません。また、2 つ折にする都合上、ページを増やす場合は 4 ページ単位で作成する必要があるため、総ページ数は 4 の倍数になります。

④まとめ

中綴じは安価で作ることができ、メリットも多い製本仕様ではありますが、制約もあります。「ページ数が多くなくデザイン性のある冊子」を作りたい場合におすすめの製本仕様と言えます。

次回は、今までにご紹介していない特殊な製本についてお話ししていきます。

TOPICS !

【フクイン オーガニックファーム】

農場長に農業に関するあれこれを伺いました！

【旬の野菜の豆知識】

人参は元々、白色か紫色をしています。今の人参はオランダで開発された品種です。当時のオランダの国旗のオレンジ色に合わせて作られました。

【野菜を育てていないときの土の状態、管理の仕方】

冬の低温期に土を耕し堆肥^{*1}をすき込み、春にもう一度耕します。このような作業を行うことで、より野菜が育つ肥沃^{*2}な畑になります。

【最近新しく発見したこと】

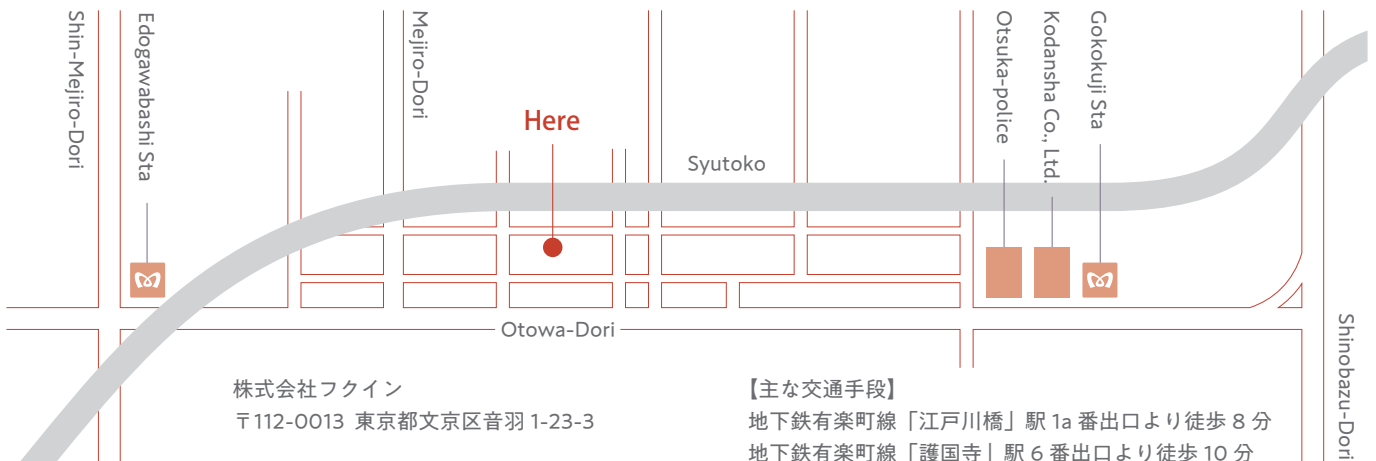
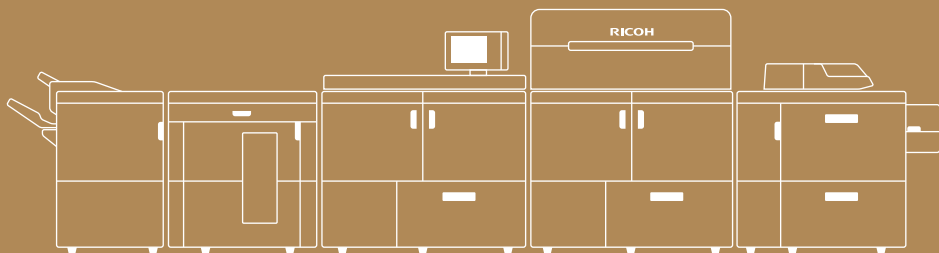
ピーツの収穫のタイミングは定植後、70日と言われているのですが、収穫のタイミングになると食べられる部分が土から自然と出てくることです。

^{たいひ}
*1 堆肥：肥料や土壌改良剤

^{ひよく}
*2 肥沃：土地が肥えて作物がよくできること



12月現在、サツマイモを社内で販売しています。
「計量ピタリ賞チャレンジ」も開催しており、ピタリが出ると一つ追加のサービスがあります！



【問い合わせ】

月刊 FOCUS 2023-24 年 12-1 月号 No.33

企画・制作：株式会社フクイン 出版・情報メディア課
tel. 03-3946-4538 (代)
fukuin_eigyos2@fukuin.co.jp (担当：森川)



月刊 FOCUS 既刊誌
HP 公開中です！

※文章や画像の無断利用はお控えください